

# 「市政 ここが 聞きたい」

## 一般質問

一般質問とは  
質問内容  
質問時間

議員が執行機関に対し、市政運営全般に対して行う質問です。  
議案とは関係なく議員が決めて、事前に通告しています。  
質問と答弁を合わせて、一人60分です。



1	諸富 八千代 (自民市政会)	○子どもの健全な成長のために ▶ 佐賀市みどりの基本計画について ▶ 市内中小企業の支援について	16	草場 健次 (ネットワーク佐賀)	○カスタマーハラスメントについて ▶ 再生可能エネルギー（太陽光）について
2	川崎 健二 (自民さが)	○子どもの読書活動の促進について ▶ 児童の読解力の現状と対応について	17	宮崎 健 (自民さが)	○街なかの鳥獣対策について ▶ 適切な喫煙環境について ▶ 生活保護受給者における独居老人対策について
3	山田 誠一郎 (ネットワーク佐賀)	○干潟よか公園の設備の整備およびひがさす 周辺の景観整備について ▶ 水産振興について ▶ 農業振興について	18	稻葉 嵩広 (自民さが)	○本市の森林の活用・保全について ▶ 公金の運用状況について ▶ グリーンアグリバレー計画について ▶ 文化・芸術の振興について <sup>※1</sup>
4	山口 弘展 (自民市政会)	○新たな産業団地の調査状況・整備について ▶ 坂井市長2期目の施政方針について ▶ 市職員の定年延長について	19	吉川 正剛 (公明党)	○多布施川に関する取組について ▶ 公共施設について
5	江頭 弘美 (自民さが)	○中核市移行について ▶ 人口減少問題について	20	岡山 香織 (自民市政会)	○放課後等デイサービスについて ▶ カラス被害対策について
6	中島 妙子 (公明党)	○産前産後支援について ▶ 介護職員等の安定的な確保について ▶ 就学前の子どもの安全な遊び場について	21	黒田 利人 (自民市政会)	○教育現場の実態について
7	山本 愛 (日本共産党)	○バス路線について ▶ 中学校の給食について ▶ 物価高騰対策について ▶ 医療的ケア児の家族のケアについて	22	川副 龍之介 (自民さが)	○有明海の漁業振興について ▶ 障がい者雇用について ▶ 市立野球場の練習場設置について ▶ 農業振興について
8	藤井 英貴 (自民市政会)	○ナガエツルノゲイトウの除去や対策について ▶ 小・中学校の教材備品等について ▶ 2025佐賀インターナショナルバルーンフェスタの総括について	23	平原 嘉徳 (自民清流)	○障がい者福祉政策について ▶ 企業誘致と企業の市外流出防止について ▶ 佐賀インターナショナルバルーンフェスタについて
9	西岡 真一 (自民清流)	○養護老人ホームについて ▶ 遊休農地の利活用について	24	徳永 文子 (ネットワーク佐賀)	○学校給食の無償化について ▶ 教職員の欠員状況の改善について ▶ 放課後児童クラブについて ▶ 佐賀市こども計画について
10	山下 勝也 (参政党)	○妊娠婦に対する金芽米の提供について ▶ 部活動の教育的意義について ▶ 中学校歴史教科書の選定について	25	野中 宣明 (公明党)	○佐賀市南部地域のまちづくりについて ▶ 空き家対策について
11	村岡 卓 (公明党)	○障がい者への支援について ▶ 佐賀市の文化振興について	26	山田 宏一郎 (自民市政会)	○佐賀インターナショナルバルーンフェスタについて ▶ 自動運転バスについて
12	御厨 洋行 (自民清流)	○ワンヘルスの視点から考える人と動物と 環境をつなぐ市政運営の在り方について	27	江口 由里子 (ネットワーク佐賀)	○鳥獣被害について ▶ 医療的ケア児について
13	山下 明子 (市民共同)	○放課後児童クラブの待機児童問題への対応 報道を踏まえて ▶ 市長の政治姿勢を問う ▶ 学校給食の無償化への対応と中学校給食の「全員給食」の検討 ▶ 一人暮らし世帯の住まいの確保について ▶ 佐賀駐屯地の自衛隊オスプレイ配備・運用について	28	南里 朱美 (STEP-UP FOR SAGA)	○病児・病後児保育室について ▶ 小・中学校における熱中症対策の現状と 課題について ▶ 誰もが安心して利用できる授乳室の環境 整備について
14	藤田 佳典 (ネットワーク佐賀)	○飼い主が亡くなった後のペットの取扱いについて	29	山崎 純 (自民市政会)	○子どもの居場所について ▶ プラスチックごみの回収について
15	重松 徹 (自民清流)	○下水道使用料の値上げの問題について ▶ 公共下水道におけるウォーターPPP 導入について ▶ 水道料金の不均衡是正について			

番号は質問順、( ) 内は会派等、掲載は大項目のみです。  
○がついている項目は、次ページ以降に詳細を掲載しています。



## 子どもと遊びに行ける場所がない！



幼児期の愛着形成と遊びと体験の重要性が紹介されている

(自民市政会)  
もろどみ 諸富 やちよ 八千代

1

問 今年の夏も大変暑く、「熱中症の危険で子連れで遊びに行ける場所がない」という子育て世代の声を多く聞いた。子どもの健全な成長には、遊びが重要である。(1)市民の屋外・屋内の遊び場は(2)熱中症警戒アラートの近年の状況は(3)市有施設の一般開放検討は。

答 ①屋外の遊び場として、金立公園や夢咲公園、神野公園、水遊びのできる多布施川河畔公園や、干渴よか公園、嘉瀬川親水公園などがある。屋内では児童館や児童センター、子育て支援センター、青少年センターなどがある(2)令和3年が5回、令和4年が15回、令和5年が19回、令和6年が37回、令和7年が36回となっている(3)関係部署で認識を共有し、夏場に子どもたちが安心して遊べる場所の確保に向け、市有施設の有効活用等を含めて考えていく。



## 子どもたちに豊かな読書習慣を



子どもの頃の読書習慣がその後の人生を豊かにします

(自民さが)  
かわさき けんじ 川崎 健二

2

問 ①本市と全国の小中学校の図書購入費は②小学校における読み聞かせの現状は③市長の読み聞かせ体験とその効果は④乳幼児に絵本の贈呈や読み聞かせを行うブックスタートを再開すべきでは⑤移動図書館ブーカスが老朽化している。買い替えが必要では。

答 ①2023年度の本市図書購入費の平均は小学校が約35万円、中学校が約51万円、全国平均は小学校が約45万円、中学校が約65万円②各校の状況に応じて工夫して行われている③子どもが好きな本と一緒に読んでいた。読み聞かせは、無理なく楽しく親子の絆を深められる大切な時間だと考える④図書館等の身近に絵本と親しめる環境を有効に活用しながら、読み聞かせがさらに広まるよう今後一層力を入れたい⑤現在、車両サイズやバリアフリーへの対応等について検討している。



## 「ひがさす」西側の景観改善を !!



土壤改良事業等が行われている「ひがさす」西側の景観

(ネットワーク佐賀)  
やまだ せいいちろう 山田 誠一郎

3

問 ①「ひがさす」西側の景観の現状をどう考えているのか②境界を定めて倒木の危険性が低い中木等の植樹を行い、目隠しする方法も考えられるが③開館5周年！今後「ひがさす」をどのように生かしていくのか。

答 ①来館者から違和感を覚えるとの声が多いと聞いており何らかの対策が必要と考えている②景観をよくするため植樹が可能か佐賀土木事務所と協議していきたい③世界に出てもらうため今後も引き続き誇る東よか干渴の価値や重要性を多くの人に体感、体験してもらいたい。同時にあらゆる環境学習の場としての役割を果たしたい。同時にあらゆる世代の交流の機会を創出し他湿地との交流連携等を推進したい。さらに市南部の重要な観光拠点としての機能を強化していくためにも魅力アップに取り組んでいきたい。



## 新たな産業団地の候補地はどこに？



候補地となる現久保泉工業団地西側

(自民市政会)  
やまぐち ひろのぶ 山口 弘展

4

問 ①令和5年度から始まった候補地調査の結果、最終的にどこに決まったのか②地域未来投資促進法を活用した整備とは具体的にどのような方法か③官民連携で進めるとのことだが、主導権は佐賀市が取るべきでは④分譲できる時期はいつ頃を目標としているか。

答 ①久保泉地区と諸富地区の2地区②自治体と国が連携して企業立地を後押しする仕組み。民間事業者による産業団地の整備でも農振除外要件等の規制緩和措置が受けられるため、民間事業者のノウハウを生かした官民連携による企業誘致や産業団地開発が可能③周辺環境に関することなどは、行政が主導権を持つ。全体としては共同で進めいく④近年の工業団地開発では、方針決定から分譲開始まで5年や8年といった期間を要している。可能な限り開発期間の短縮に努めたい。

9

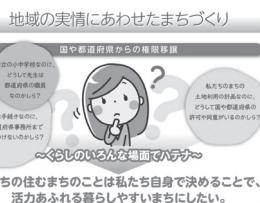


## 中核市実現への理想の都市像を示せ

(自民さが)  
えがしら  
江頭 弘美



5



もっと暮らしやすいまちを私たち自身で決める中核市へ！

【答】目標す理想像は、市民を中心、同心円状に市、県国と、それぞれの役割で市民の暮らしを支えるまちづくりである。市民に一番身近な市の役割の拡大で、市の強みである世帯情報も生かし、子育て、福祉など今まで以上に市民の悩みを丸ごと受け止め、寄り添う行政へと進化させる。また、手続きのワンストップ化、迅速化、相談支援の充実に加え、広域連携や新たな行政データを活用した独自の施策展開など、実効性の高い効果も期待できる。着実に検討を前に進めていく。

【問】中核市移行は市長の公約であり、公約は市民への約束として非常に重いものである。だが、これまで市民への周知も徹底されていない。特別委員会で示された将来像も抽象的過ぎる。市長として、具体的に中核市でどのような市政、都市像を実現したいのか。

(公明党)  
なかしま  
中島 たえこ 妙子



6



「産後ドゥーラ」は産前産後の母親に寄り添います

【答】①情報が行き届いていいな可能性があり、情報発信を強化したい。また急な対応が難しいため、利用者目線に立て、急なニーズへも対応できるよう検討したい②活用自治体へのアンケート調査を実施。ドゥーラによる家事・育児・相談対応など母親に寄り添つた支援が好評であり、産前産後の母親への有効なサポートとなり得ることを確認③育成支援として、資格取得に補助を出すことは考えていないが、資格を取得された方の活用は、引き続き検討していくたい。

【問】産前産後の切れ目がない支援は非常に大切である。①産後の母親を支援するサポートママの利用者が少ないが課題についてどのように考えるか②産後ドゥーラについてどのような研究をされたのか③本市でも産後ドゥーラを育成、活用すべきと考えるがいかがか。

(日本共産党)  
やまもと  
山本 愛



7



## 旧国鉄佐賀線にバス路線新設を



バス路線新設が望まれる  
旧国鉄佐賀線

【答】①祐徳自動車株式会社らモラージュ佐賀とゆめタウン佐賀を結ぶバス路線の新設を検討しているとの話を受け、本市も連携して取り組むこととなつた。これに関連し、東佐賀町と大財付近を通る旧国鉄佐賀線跡辺りの区間の新たな路線バスの運行計画を同社と協議しており、令和8年度度には運行を開始できるよう取り組みを進めている②検討段階ではあるが、田代二丁目交差点を北へ進み、マルキヨウ大財店を通り、ほほえみ館前交差点を経由する南北ルートで調整を進めている。

【問】旧国鉄佐賀線の東佐賀町から大財六丁目信号付近に、バス路線がほしいという要望が地域の方々から多く寄せられた。①この場所にバス路線の新設の検討を②新設を検討している路線は、具体的にどのルートを通りか。

(自民市政会)  
ふじい  
藤井 英貴



8



## 外来種対策に新技術導入を!!



繁茂面積が拡大する  
ナガエツルノゲイトウ

【答】①年々繁茂面積が拡大し、令和元年度の約5万平方㍍に対して今年度は約14万平方㍍。定着すると根絶が難しく、拡大を防ぐ対策を重点的に実施している②国の研究機関と協力して薬剤を用いた化学的防除技術の開発に取り組み、現在、効果検証と環境への影響評価の実証実験を行っている③根気強く継続的な取り組みが必要であり、ロボット等の新技術を含めた低コストで効果的な手法の調査、研究を進めたい。新たな技術等の導入により適切な水面の維持管理を推進したい。

【問】クリークなどに繁殖する特定外来種ナガエツルノゲイトウは、生態系や農業に深刻な影響を与える。除去が進まない中、①現在の状況と対策は②新たな除去方法への取り組みは③次世代技術としてのロボット技術の導入を検討できいか。



## 養護老人ホームの措置費改定を



安心して働き、安心して暮らせるように

(自民清流)  
にしおか しんいち  
西岡 貞一



9

問 ①市から養護老人ホームに支払う措置費について、厚生労働省は消費税率の改定等に対応し改定するよう、数度要請を行ってきたが、市の改定状況は②また、施設の收支などを確認し、自治体独自の改定を行うよう要請もあつていているが、市では対応しているか。



## 妊娠婦へ金芽米を届けよう！



佐賀県産の金芽米が広がればなあ（写真はイメージ）

(参政党)  
やました かつや 勝也



10

答 ①消費税率が10%になつた際は、国から事務連絡があり、その内容に沿つて改定しました。また、職員の処遇改善などについても、国の通知に基づいて順次改定を行つてきた②自治体独自の改定は、現在のところ実施していない。改定には社会経済情勢や地域の実情等を勘案して、各自治体で改定率を決定する必要がある。今後、既に改定を行つた自治体の改定内容を調査し、近隣自治体の措置費の水準も参考にしながら、対応を検討していきたい。

問 妊娠期の栄養改善によって出生体重が向上することが知られており、妊娠婦へ栄養価の高いお米を配布することは、低出生体重児の減少や将来的に発達障がい抑制にもつながり、もっとも費用対効果の高い子育て支援策の一つと考えるが、市の見解は。



## コミュニケーションの壁をゼロに！



通常の電話窓口で手話にも対応できるように

(公明党)  
むらおか たかし  
村岡 阜



11

答 ①手話リンクは、電話リレーサービスの法人向けのサービスである。電話リレーサービスは、聴覚や発話に困難のある方と聞こえる方との会話を通訳オペレーターが手話、または文字と音声を相互に通訳し、電話で同時に双方につなげることができる。サービス②設置した企業、自治体で負担③障がいの特性に応じたコミュニケーション手段への理解を深め、その利用の促進を図ることは大切であると認識している。企業における導入の推進につながるよう情報発信に努めていきたい。

問 市は障がいのある人もない人も心つたわる条例により、障がいの特性に応じたコミュニケーション手段の利用促進に取り組んでいる。①手話リンクの概要是②サービス利用の費用負担は③市が率先して導入し、合意的配慮の取り組みとして市内企業へ推進すべきでは。



## 人も動物も環境も、健康はひとつ



人も動物も環境も全ての健康はつながっている

(自民清流)  
みくりや ひろゆき  
御厨 洋行



12

答 ①人、動物、環境の分野横断的な取り組みにより佐賀の豊かな環境を守り、人の健康や動物との共生を推進し、持続可能で安心して暮らせるまちづくりを進める②民間施設を開設場所の候補とするなど、拡充に向けた検討を継続していく③野生イノシシの豚熱感染の確認を受けて、県と連携し、家畜養豚へのワクチン接種や野生イノシシへの経口ワクチンの散布を行っている。豚熱以外でも、畜産農家の牛へのワクチン接種、消毒液の購入補助や防疫資材等の配布を実施している。

問 人の健康、動物の健康、環境の健全性を一体的に守ることで社会全体の安全と安心を確保するという考え方「ワンヘルス」について①今後どのように進めていくのか②ペット避難所の拡充はできないか③野生動物から家畜への感染症を防ぐための取り組みは。



## 学童保育の待機児童過小報告問題は

(市民共同)  
やました あき 明子



13



正確な実態把握こそ  
適切な施策の力

問 市は放課後児童クラブの6年生まで受け入れを条例で定めながら、4年生以上の受入れ困難な校区の申込みを受け付けず、国への報告にも反映していないかった。これは、国の統計への信頼を損ね、待機児童の実態把握とフォローを遅らせるこになつたのでは。

答 市の報告方法について、統計への影響があつたことは否めないと考えている。今回の件を真摯に受け止め、今後適切に対応したい。また、放課後児童クラブへの入会手続きについて、明らかに受け皿が不足する校区もあつたため、これまで保護者の手続きの負担等を考へ、受け入れが難しい学年の受け付けを行つてこなかつた。これらの校区においても高学年の利用ニーズはあると認識しており、今後はこれらの対象者へのフォローしていく必要があると考えている。

(ネットワーク佐賀)  
ふじた よしのり  
藤田 佳典



14

## ペットの終生飼養と地域支援



市が設置している  
小動物保管庫と祭壇

答 ①高齢者単身世帯の増加やペットの長寿化等により、ペットを飼い続けることが困難な方は今後増加すると認識している②市で動物を保護、収容する施設は保有していないため、状況に応じて佐賀中部保健福祉事務所等を案内している③市でペット専用の火葬炉は保有しておらず、遺体等は清掃工場へ持ち込みとなるが、その際に、既設の祭壇で線香をあげることができる④本市には終生飼養を引き受ける施設等が不足しているため、各自で引受先等を確保することが重要と考える。

問 ①飼い主死亡時等のペットの取り扱いが問題となつていて、市の認識は②飼い主死亡時等に市がペットを引き取る制度はあるか③ペットの遺体や遺骨の取り扱いについて公的に引き取り・火葬・供養するような制度はあるか④ペット後見ネットワークの構築は。

(自民清流)  
しげまつ とおる  
重松 徹



15

## 下水道使用料の値上げの問題



生活に欠かせない下水道の  
工事 (写真はイメージ)

答 下水道は市民生活において一日も止めてはならない重要なインフラで、老朽化した施設の改修は確実に推進していくなければならない。このため予算を平準化しながら計画的、効率的に実施するストックマネジメント計画に基づき事業を実施することで、施設の延命や費用の抑制を図っている。施設の老朽化対策や自然災害への備えをしっかりと行いながら、一方で市民への負担をできるだけ抑えることにも配慮した上で一定の資金を確保するための改定率である。

問 市上下水道事業経営審議会での委員の意見として「老朽管の改修など資金が不足するから市役所も対応が必要になるが、せんと言う数字が出ないと難しき」との発言だったが、今回の下水道使用料の平均9・25%値上げの根拠は。

(ネットワーク佐賀)  
くさば けんじ  
草場 健次



16

## カスタマーハラスメントをなくそう



お互いを尊重し合う  
社会の実現へ

答 クレーム対応マニュアルの作成や職員を対象とした各種研修の実施、通話録音および音声ガイドランスの試験運用等に取り組んできた。これらに加え、カスタマーハラスメント対策を組織全体の問題として捉え、対応する職員だけでなく、管理職、監督職がしっかりと関わり、一貫して対処することとしている。また、今回の法改正を踏まえた対応方針の策定にも取り組んでいる。策定後は速やかに周知を図り、民間事業者等での対策の参考としていただきたいと考えている。

問 来年施行される労働政策総合推進法では、カスタマーハラスメントが「雇用管理上の措置義務」となり、事業者はもちろん市役所も対応が必要になるが、民間の対応を後押しするためにも法改正を踏まえた市としての対応が必要ではないか。



## どうする？まちなかのムクドリ対策



ムクドリ対策の  
フクロウの置き物

(自民さが)  
みやざき たけし  
宮崎 健



17

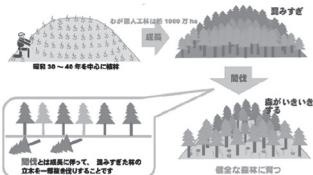
問 ①まちなかでムクドリが増えたように思えるが市の見解は②ムクドリの被害対策はどうなつているのか③ムクドリ被害について対症療法ではなく根本的治療として個体数を減らすべきと思うが④ムクドリに対して分析・調査をするべきと思うが見解を。

(自民さが)  
いなば たかひろ  
稻葉 嵩広



18

問 森林は公益的な機能を有し、その機能を発揮するためには適切な森林整備が必要である。本市では人材の確保に取り組んでいるが、林業従事者は減少傾向となっている。戦略的に人材を確保するために基本計画において就業者数を目標値に設定できないか。



適切な森林整備は  
私たちの生活を豊かにします

答 ①生息数調査はしておらず、増加しているかどうかの判断材料は持たないが、今年度は駅北通りで少なく、中央大通りをねぐらとする数が多かつた②LEDライトでの追い払いや電線に鳥害防止器を設置し、ねぐらとさせない対策をしてきた。今年度は猛禽類であるフクロウの模型をムクドリが多く集まる付近の照明灯に試験的に設置している③まちなかで獵銃や網などによる駆除を行うことは困難である④被害状況や他市の事例を検討していきたい。

答 森林の適正な管理を進めるために、林業従事者の確保は、重要な指標の一つであると認識している。本市の森林は収穫期を迎えており、間伐中心から、主伐中心の森林整備へ移行することや、スマート林業機器の導入等による作業効率化によって、必要な林業従事者数は変動すると考えられる。今後は、森林所有者や林業事業体のニーズを捉えながら、現実的かつ適正な成果目標の設定について検討していきたい。

(公明党)  
よしかわ せいごう  
吉川 正剛



19

問 利用者・観光者が安全に安心して快適に過ごすことができることとして、多布施川河畔公園が目指される。①自転車・歩行者専用道路の維持管理は②公園内の掲示物、案内板の管理体制は③公園内の清掃、維持管理の考え方は④歴史広場内の老朽化が進む健康

答 ①定期的に道路パトロールを実施し、損傷が著しい場所は適宜修繕を行うか、県が連絡している②市職員や公園

遊具の更新は。



多布施川の石井樋公園

答 ①実務経験と専門知識を有する相談支援専門員の活用により、課題の解決や子どもたちのニーズに応じた適切なサービス利用につなげている②佐賀地区障がい者基幹相談支援センターが行う研修や相談支援連絡会等により専門性の強化や実務能力の向上を図っている③学校関係者への研修会の実施や学校と事業所の連携の場を通して、個別の状況に応じた調整や情報共有ができる④学校の規模や児童・生徒の状態等を踏まえて引渡し方法を工夫し、事業所と連携しながら対応している。

(自民市政会)  
おかやま かおり  
岡山 香織



20

問 「佐賀市障がい者プラン」の策定を踏まえて①児童に合った放デイ事業所を選択する際の支援は②相談支援専門員の専門性や質の向上につながる研修は③放デイ事業所と学校との連携の重要性について④学校からの送迎時等の安全面に配慮について。



## 放課後等デイサービス利用の現状は



放デイ利用により児童が適切な支援が受けられるように

答 ①実務経験と専門知識を有する相談支援専門員の活用により、課題の解決や子どもたちのニーズに応じた適切なサービス利用につなげている②佐賀地区障がい者基幹相談支援センターが行う研修や相談支援連絡会等により専門性の強化や実務能力の向上を図っている③学校関係者への研修会の実施や学校と事業所の連携の場を通して、個別の状況に応じた調整や情報共有ができる④学校の規模や児童・生徒の状態等を踏まえて引渡し方法を工夫し、事業所と連携しながら対応している。



## 学校運営協議会の設置拡大を

(自民市政会)  
くろだとしと  
黒田利人



21



子どもたちの  
よりよい成長のために

答 保護者や地域住民の意見を学校運営に反映させる学校運営協議会を設置したコミュニティ・スクールは、地域と共にある学校づくりの実現に向けた重要な手段の一つである。最終的には全ての学校での導入を目指しているが、制度導入が目的ではなく、継続的な運営が何よりも大切であると考え、機運の高まった地域や学校から段階的に導入を進めている。今後も市独自の立ち上げ支援制度である地域教育コーディネーター制度等を活用しながら、拡大に取り組んでいきたい。

問 今日の学校現場において、子どもたちの多様性に対応することは子どもの成長過程において必要不可欠である。地域の力、地域の支援によってその効果を増進させていく必要があり、その環境づくりとして、学校運営協議会の市内全校への設置について問う。

(自民さが)  
かわそえりゅうのすけ  
川副龍之介



22



ノリがある食卓をいつまでも

答 ①韓国、中国からの輸入量はともに増加傾向である。②情報収集や漁協との情報交換を行っている。気候変動等に対応した新たな技術の導入支援や施設設備への支援なども検討している。③県は海水温等を4日先まで予測するシステムを開発し、養殖管理支援として情報提供している。また栄養剤添加の自動化も検討されている。④現在、ノリ養殖を取り巻く環境は大変厳しい。様々な先進的な取り組みや事例について視察などを通じた情報収集を行い、漁業環境の改善に向けて取り組みたい。

問 ①ノリの国内生産量が減少する中、韓国、中国からの輸入量の推移は②海水温に関係なく種付ける陸上苗普及の考えは③スマート水産業の活用状況は④企業による陸上養殖技術の向上と技術確立が進む中、ノリの主要産地自治体として状況を見知すべきでは。

(自民清流)  
ひらばるよしのり  
平原嘉徳



23



企業の拡張にもしっかりと  
サポートを

答 本市の企業誘致の方針は、立地を伴うものは、開発計画中の産業団地への立地促進を中心据え、計画的に取り組んでいきたい。産業団地の整備では、区画やインフラの柔軟な提供など、産業用地としての魅力の向上に努めている。既存企業からのニーズも大変重要なと考えておる。

問 産業団地の検討が進む中、既存企業の用地ニーズ等の要望把握も重要なと考えるが、どのような基本方針をもつて企業誘致に取り組むのか。また、企業の拡張にあたって隣接地が農用地のため、市外への移転を検討されている企業があると聞くが、対応が不十分では。

(ネットワーク佐賀)  
とくながふみこ  
徳永文子



24



質・量ともに豊かで、  
おいしい給食を

答 ①令和8年度からの小学校の給食無償化については、現時点では国から詳細な制度設計は示されていない。情報を積極的に収集していきたい。②物価高騰の影響で給食の食材価格も上昇しており、本市では令和4年度から給食への補助を行っている。給食の質と量を維持するためには、食材価格の状況に応じた適切な給食費の設定が必要である。今後も物価の状況等を注視し、栄養バランスの取れた給食を安定的に提供できるよう、必要に応じて給食費の検討をしていきたい。

問 ①物価高騰を受け、小学校給食費が3学期分は無償化となりた。4月以降、再び有償となるのは受け入れがたいが、見通しは②現在1食あたり310円に設定されている食材費で、これまで提供されてきた給食の質や量が維持できるのか。

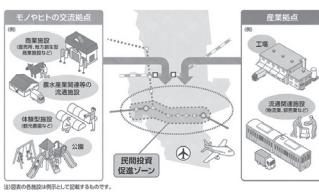


## 南部エリア開発構想の推進に向けて

(公明党)  
のなかのぶあき  
野中 宣明



25



佐賀市南部エリア開発構想の「将来像」

答 ①半導体関連産業をはじめ、医療・医薬品、輸送用機械、食品関連など地域経済を牽引する分野を中心に、企業間連携による産業クラスターの形成、地元企業への波及効果の拡大、雇用創出と地域所得の底上げを図り、地域経済の持続的な成長につなげていきたい。②必要に応じて府内の関係部署と連携を取りながら支援していく必要もあると考えている。③産業拠点、交流拠点、民間投資促進ゾーンそれぞれの具体的なロードマップの作成についてしっかりと取り組んでいきたい。

問 ①産業集積のコンセプトをどう考えているのか。②開発を進めていく際には、農地の代替等といつた農地保全に向けて行政が一體的にバックアップする手立てが必要では。③構想の実効性を担保するためには実行計画を策定すべきではないか。

(自民市政会)  
やまとこういちろう  
山田 宏一郎



26

## バルーンフェスタ 次回の対策は？



対岸（久保田町）側は路上の違法駐車が目立つ

答 競技終了時等の一時的なトイレ利用者の集中や通信環境の確保については課題であると認識しているため、会場内配置の見直し検討や通信キャリアとの協議を行い改善に努めたいと考えている。また、会場周辺における交通渋滞や路上駐車対策等は、バルーンフェスタを安全かつ円滑に開催する上で極めて重要な課題の一つと認識している。来年の大会に向けては、コーンやバー等の設置や周辺自治会等と連携しながら、必要な対策の検討を進めたいと考えている。

問 ①来場者ピーク時のトイレ、通信環境の混雑は改善が必要。また、対岸（久保田町）側は通行制限区域が設けられているが、許可されていない車両の侵入や違法駐車が増えており、警備員配置の再考やコーン・バーの設置などが地元から求められている。対策は。

(ネットワーク佐賀)  
えぐちゆりこ  
江口 由里子



27

## アライグマの生活環境被害実態は



佐賀市が捕獲したアライグマ

答 ①令和4年度142頭、令和5年度246頭、令和6年度271頭。家屋侵入や家庭菜園の作物被害等がある。②南川副、西川副、嘉瀬などの中南部地域③現場を確認した上で貸し出す。一般の方でも安全管理等の現地講習を受け、捕獲従事者として捕獲ができるようにしている。④被害発生前に生息地域にわなを仕掛けたる対策を強化していく。強化策として、佐賀市環境保健推進協議会を通じて自治会に協力を依頼。箱わなを自治会に貸し出し、日常管理を実施していただく。

問 市民の方から生活環境被害が多く寄せられている。①直近3年間の捕獲頭数の推移および被害状況は②捕獲頭数の多い校区は③箱わな貸与手順は④被害軽減のために個体数を減らす新たな対策は。

(STEP-UP FOR SAGA)  
なんりあけみ  
南里 朱美



28

## もっと身近に頼れる病児保育へ



共働き世帯の心身の負担軽減のために！

答 ①現在の利用者数はコロナ禍前より減少。在宅勤務の普及や休業制度の拡充も一因だが、一方で制度や利用方法の浸透不足、手続きの煩雑さから利用されなかつたケースも考えられ、制度周知や利用しやすい環境づくりに努める②負担が軽くなるよう、医師や保育室スタッフと協議していいく③感染症の急性期は病状が急変することもあるため、医師の判断を仰いでいる。④他の自治体の予約システムの状況も参考にしたい。利用者の利便性向上は重要で、引き続き簡素化等考える。

問 ①病児・病後児保育室の利用状況は②利用したくても、紙媒体での申請、空き状況の電話確認等、多忙な保護者には手続の負担が非常に大きいのでは。③感染症による発熱時は利用できない等、運用面の課題は④ICT導入等、手続きの簡素化が必要では。



# 来ていい・居ていい児童館

(自民市政会)  
やまさき  
山崎 純



29



気軽に行ける「居ても良い場所」があるといいな…

問 ①児童館ガイドラインが示す児童館・児童センターの機能と役割について本市の現状は②不登校児童・生徒が学校・家庭以外の居場所として児童館・児童センターを「居ても良い場所」とできないか③建物や事業充実において国や県の支援メニューの活用状況は。

答 ①各施設には、児童の遊びを指導する専門職員が在籍し、読み聞かせ、スポーツなどの体験イベント等を実施。利用者アンケートでも活動内容は、高く評価されており、子どもの発達の増進や子育て支援などの役割を担っている②不登校など悩みを抱える子どもにとって、安心できる居場所となるよう配慮し、今後も大切な居場所となるよう努めたい③イベントの実施や施設の移転整備には、国や県の支援メニューを活用。今後もこれらを有効に生かし、取り組みの充実を図りたい。

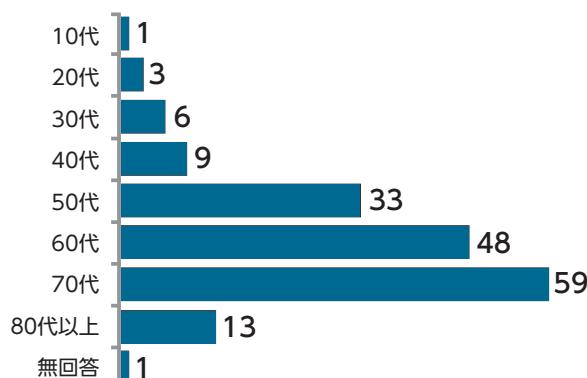
## 議会報告会～アンケート結果のご紹介～

今年度は5月から6月にかけて市内10カ所で開催しました。多数の方にご参加いただき、本当にありがとうございました。各会場でご記載いただいたアンケートの主な結果や、報告会に対するご意見を紹介いたします。皆さんからのご意見は、次回以降の報告会開催の参考とさせていただきます。ご協力ありがとうございました。

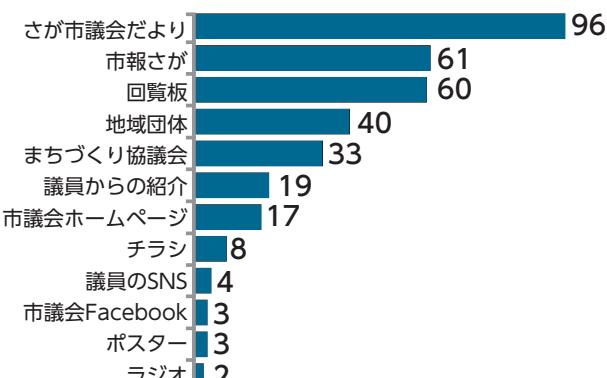
### 主なご意見

- ・文章を読むだけでなく、生の説明を聞くことができ、非常にわかりやすかった。
- ・休日の開催はよかったです。夜の時間帯をお願いしたい。
- ・資料は紙だけでなく映像や写真などを活用していただくと分かりやすいのではないか。
- ・意見交換の時間を増やしてほしい。
- ・普段聞くことがない市の行政についてや、他の方が考えていることを聞くことができてよかったです。
- ・市民の要望を行政に確実に伝達してください。

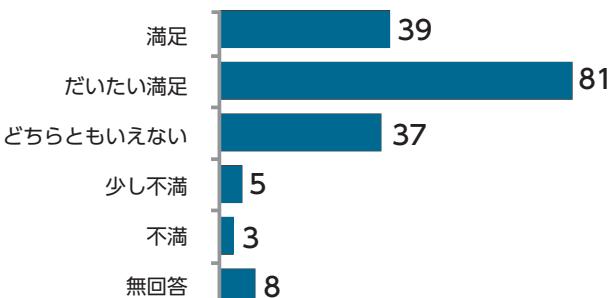
### 問 あなたの年齢は？



### 問 この議会報告会を何によって知りましたか？



### 問 今日の議会報告会はいかがでしたか？



令和7年5月24日 松梅公民館の様子

※アンケート集計結果および自由意見の詳細はホームページに掲載。

